

平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業
地域包括ケアシステムの構築に向けた
公的保険外サービスの普及促進に
関する調査研究事業

自治体における保険外サービス活用

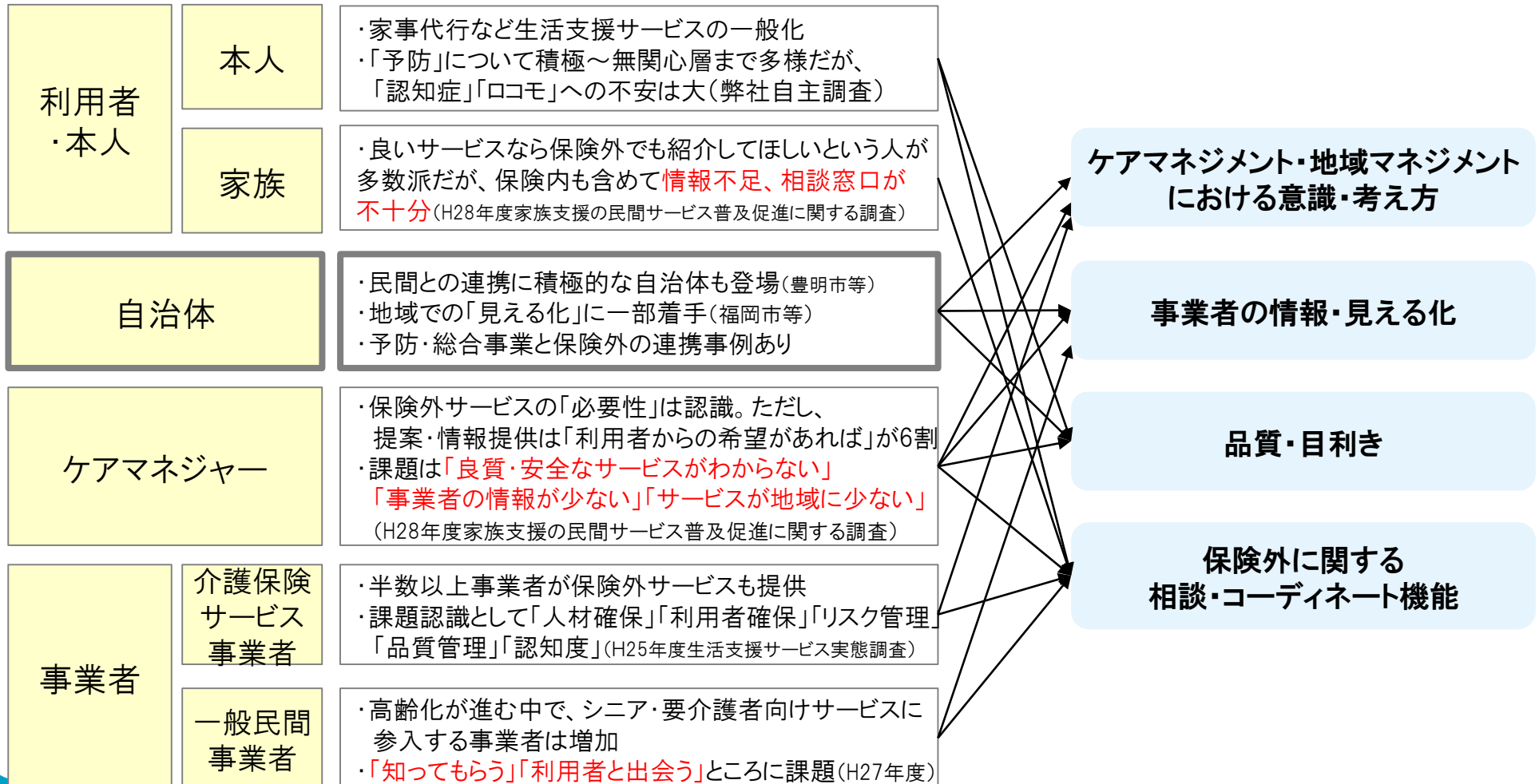
2018年3月30日
株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門

自治体への着目

事業者と利用者とのマッチング

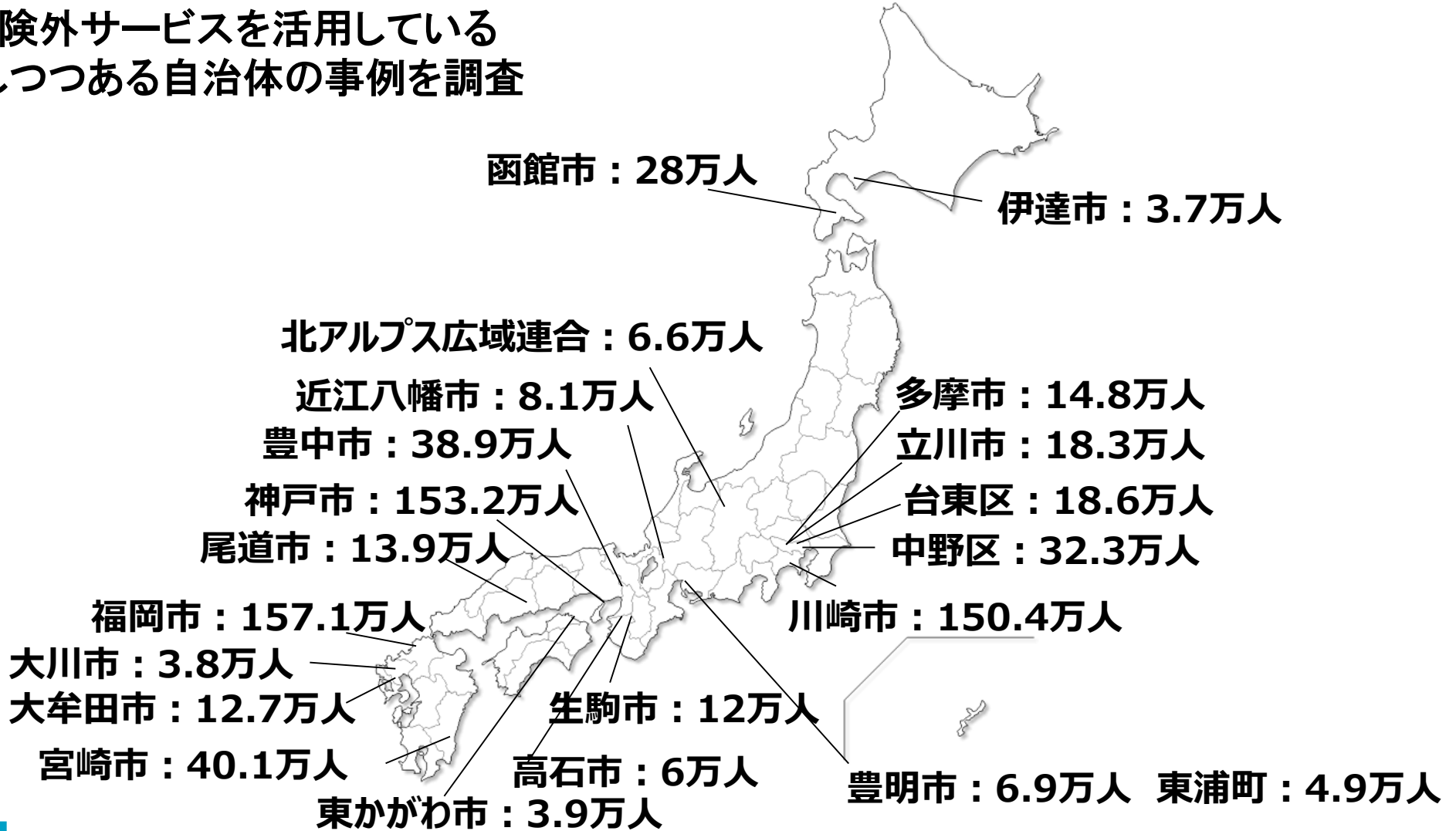
現状・実態

普及促進を阻害する要因・課題



ヒアリング先自治体

保険外サービスを活用している
・しつつある自治体の事例を調査



背景となる問題意識・地域の課題

「保険外サービスありき」ではなく、地域の課題に向き合った結果、
「保険外サービスに辿り着いた」というケースが大半。

暮らしを支援する基盤充実

多摩市（団地の高齢化） 豊中市（移送支援）
北アルプス広域連合 東かがわ市
（配食の担い手）（地域資源見える化）

見守り・孤立防止

尾道市 台東区
（顔の見える関係構築）（都市部の見守り）

高齢者の課題解決×産業振興

川崎市 近江八幡（“商助”）
（買い物×福祉産業育成） 伊達市
函館市 （高齢者が暮らし
（外出×商業活性化） やすいまちづくり）

通いの場の充実化、介護予防

中野区（予防） 大牟田市（通いの場）
神戸市（通いの場） 生駒市（予防）
高石市（健幸街づくり） 宮崎市（支え合い意識）

暮らしを支援する情報の発信

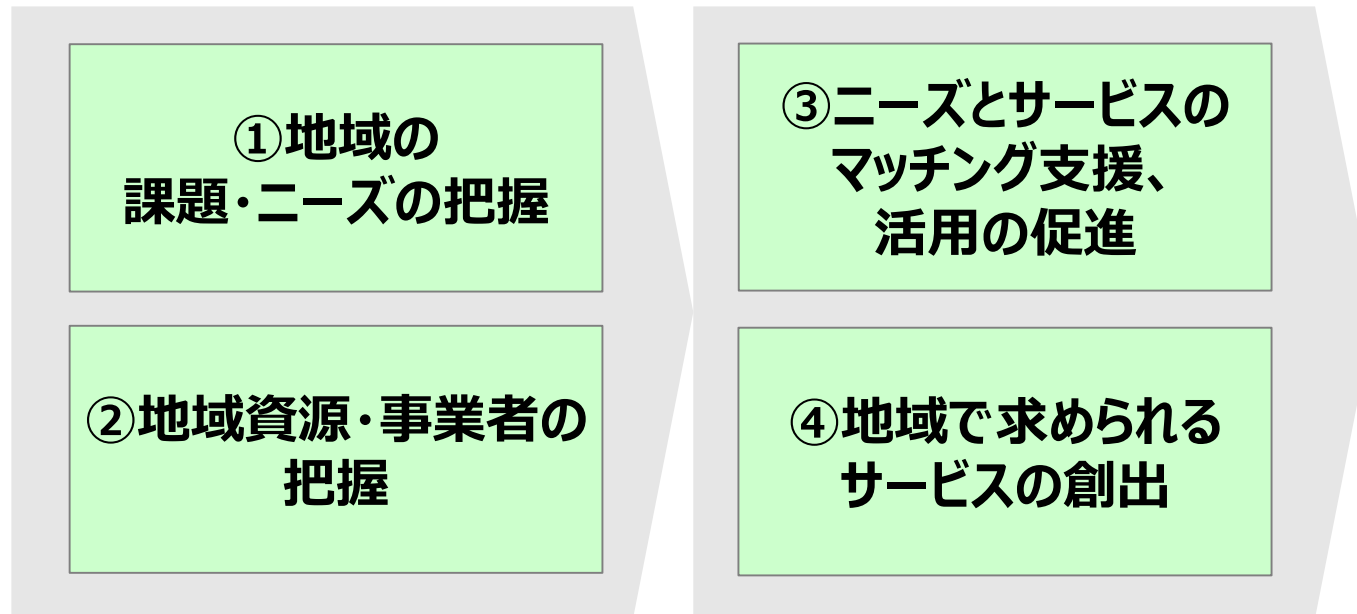
東浦町 立川市
（地域資源把握）（家族を含めた情報発信）
福岡市
（地域高齢者への情報提供）

地域における多様な社会参加の場づくり、活用促進

豊明市 大川市
（予防給付の拡大）（多様な受け皿作り）

自治体に期待される期待される役割

保険外サービスを活用した「地域づくり」において、自治体には以下の4つの機能を果たすことが期待される。



➡ 自治体に、どの機能が特に求められるかは地域の事情によって異なる。
(一つの正解はない)

役割を果たす際の課題

- ニーズのつかみ方
- 有償サービスの需要の見極め

①地域の
課題・ニーズの把握

②地域資源・事業者の
把握

- 資源の把握
- 関係者の情報共有・整理

- サービスの認知
- 品質、トラブル時の対応
- 公平性確保
- 専門職・関係者の意識改革

③ニーズとサービスの
マッチング支援、
活用の促進

④地域で求められる
サービスの創出

- サービスの担い手確保
- 自己負担の軽減
- サービス継続性の担保
- 創出を担う人材育成

課題解決のポイント

- 既存の情報活用
- 独自に調査
- トライ&エラー

① 地域の課題・ニーズの把握

② 地域資源・事業者の把握

- 事業者自ら情報を出す仕組み
- 関係者の育成を兼ねた資源把握
- 自治体からのアプローチ
- 共有の仕組み作り

次世代の国づくり

- 伝え方・内容の工夫
- 家族や支援者への情報提供
- 「試せる」サービスの紹介、事業者への働きかけ、住民の目利き、作り込みへの関与
- 平等な参加機会の提供
- 意識共有の場作り

③ ニーズとサービスのマッチング支援、活用の促進

④ 地域で求められるサービスの創出

- 商工部門との連携等による幅広い担い手確保、地域課題の情報発信
- 「組合せ」による解決
- サービスを磨く仕組み
- 事業者側のメリットの配慮
- 外部人材活用や人材育成

多様な担い手による「地域づくり」の重要性

- 医療・介護＋多様な担い手を「つなぐ」ことで、新たな価値を創出することが期待される。
- 自治体サイドにおける部門横断的な取り組みがポイント。

